

常議員候補者の推薦と紹介

今年の会員大会で選出される大阪YMCA常議員の候補者に、次の方々が常議員会から推薦されました。(50音順)

奥田 時夫
12000年4月13日
常議員、土佐堀YMCA運営委員



南出 和余
1994年6月1日
常議員、堺YMCA運営委員、アジア太平洋YMCA同盟委員



松下 広子
1989年7月1日
財団法人理事、常議員、南YMCA運営委員、社会福祉法人評議員



入会年月日
所属教会
大阪YMCAでの役割

中本 和子
1992年12月20日
常議員、堺YMCA運営委員



間 祐三
1987年4月1日
日本キリスト教団池田五月山教会
常議員、北YMCA運営委員



横田 憲子
1994年5月23日
東YMCA運営委員



ご案内
会員大会

大阪キリスト教青年会会則25条により
2007年会員大会を次の通り開催します。

大阪キリスト教青年会
常議員会議長 長尾 ひろみ

日時: 2007年5月26日(土)
13:00~14:30

場所: 大阪YMCA会館
大阪市西区土佐堀1-5-6

プログラム

- 1. 会員表彰(奉仕の書に誌する会員)
2. 報告と協議
(1) 常議員の選任
(2) 2006年度事業および会計の報告
(3) 2007年度基本方針の説明
(4) 2007年度事業計画および予算の報告

傍聴について

維持会員(本年3月31日時点)以外の会員は、常議員会に届け出て傍聴することができます。ご希望の方は5月11日(金)までに書面で大会事務局(大阪市西区土佐堀1-5-6大阪YMCA統括本部)へお申し出ください。

南YMCA

南YMCAで行っているボランティアを中心とした諸活動の内外への周知と、関わる人々の交流を目的として、3月21日(水)に南YMCA本館で「ボランティアフェスタ2007」を開催しました。ロビーでは、Ynetグループおよび小委員会の活動展示ブースを設け、写真とともに紹介をしました。メイン会場のホールでは、83名の参加者が集い、

ボランティアフェスタ2007

第1部として、臨床心理士で大阪市教育委員会スクーールカウンセラーの翼 葉子氏による「大人の知らない、子どものこころ」と題した講演会があり、現場でトによるシンポジウム「多文化のまなざしで語る日本―世界の居場所になるために―」を行い、多様な文化背景を持つ4名のパネリストの方々が日本で生活するボランティア、スタッフが集いました。初めに開会礼拝を捧げた後、継続会員表彰、特別表彰が行われ、さ



創立125周年記念インタビュー

先人に聞く! ①

西村和雄さん



大阪YMCAにおいて、土佐堀の体育活動委員や中央YMCA、西YMCAの運営委員など会員として長年関わってこられた西村和雄さんにインタビューしました。ここではお話の内容の中から入会当時の様子を抜粋して記事にしています。(2006年10月24日大阪YMCA会館にて)

内田: YMCAと関わるようになったきっかけは何ですか?
西村: YMCAとの関わりは36年になります。「一緒に汗を流しませんか」という臨時会員募集の手書きの新聞折り込みチラシを見て、土佐堀YMCAでトレーニングするようにになりました。
内田: YMCAでトレーニングを体験した後はどうされました?
西村: 当時は設備、内容、指導者などスポーツ設備の整った会館は大企業等にしかなく、募集すれば多くの人が集まるのですが、基礎体力の不足からドロップする人が余りにも多いので、3カ月間のオリエンテーションコースをもうけ、その中でYMCA理解や基礎体力の養成、またかつての「学生時代に体験したスポーツで汗を流す楽しさ」を体験してもらおう等、初めてなのでいろいろ試行錯誤しながら行いました。なかでも欠席者に電話をする戦術は大成しました。「どうなさいましたか?」でも引かれたのですか?
西村: そうですね。かきかたの極端な細やかな対応により、コース終了後に受講生はYMCAの会員となり、各クラブの場でレイマンとして活躍されています。
内田: 学校のクラブみたいに、担当スタッフ(顧問の先生)はいらなくても、先輩が先輩や新人の面倒を見て、いろいろとフォローしていたのですか?
西村: また、YMCAが主催するハイキングを始め各種の野外活動等には各クラブのリーダーが参加し、プランを練り、それぞれのメンバーの家族ともども参加したものです。
西村さんのお話から、YMCAは一貫して様々なプログラムを通じて参加者、その家族、地域の人々をYMCA運動の担い手として、その輪を広げ会員に育てていったことを改めて知ることができました。(聞き手: 内田弘志・YMCA総合研究所)